

ただ機械学習するのはやめませんか

賀沢 秀人^{†1}

概要： 自然言語処理研究の歴史は、内省・観察にもとづく定式化と解法の探求からはじまり、大規模データによる客観評価の時代をへて、機械学習全盛へと至っている。しかし研究成果を利用する立場から見ると、昨今の機械学習を用いた研究には問題が非常に多い。本講演では、自然言語処理システムの開発に携わってきた自身の経験から、現在の機械学習をベースとした研究方法・評価の問題点を指摘し、今後の方向性について幾つか私見を述べる。

^{†1} グーグル株式会社